

令和3（2021）年度入学試験問題出題のねらい・解答例 （学校推薦型選抜）

中村学園大学〔栄養科学部 フード・マネジメント学科〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

栄養科学部フード・マネジメント学科は、理系科目の食品科学・栄養科学の知識を基礎として、食ビジネスに貢献できる人材養成を主目的とする文理融合型の学科である。このため、毎年公表される様々な統計データを理解・分析する能力に加えて、食料や食ビジネスについて記述した様々な文章を理解・分析する能力が求められる。小論文を課す目的は統計データや文章が意味するところを正しく理解し、食料をめぐる様々な社会的事象や考え方の背景を推論できるかどうかを判定することである。このようなことから、例年同様、本年度の学校推薦型選抜の小論文においても、図表を読み取って指示に従って記述する問題のほか、文章を読み解き、その筆者の考え方等を整理して解答する問題を出題した。

本学科を志望する学生は、普段から食料の生産から消費、栄養摂取、健康、ならびに安全管理にわたる幅広い領域における動向やその本質に関心を持ち、新聞やニュース等から得ることができる情報に対して、自身としての考えを持つ習慣をつけておくことが望ましい。

小論文その1は、世帯における主な食品別・年齢階層別に食品ロス率がどのような傾向を示しているのか、データを基に様々な情報を的確に読み取り、設問に応じて計算し、適切に記述できることを主に問う形式とした。食品ロスについては、持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けて、日頃から新聞紙上やニュースにおいて取り上げられている話題であり、本学科を受験する学生であれば、当然、関心の高いテーマであろう。

問1は、基本的な計算力を評価した。野菜類の食品ロス量と食品ロス率が数値で与えられれば、使用された野菜類の使用量を導くことができる。

問2は、各食品の食品ロス量に占める「直接廃棄」の構成割合が最も高いものを選び出す問題であり、文言の意味を正しく理解したうえで、正しく図から情報を読み取ることができるかを評価した。

問3は、食事管理者の年齢階層別の食品ロス率の特徴を、図から、「食べ残し」「直接廃棄」「過剰除去」別の傾向を読み取り、簡潔明瞭に説明することを求めた。ここでは、推論や憶測を述べるのではなく、正確に図を読み解くことが求められる。誤字や脱字がなく、定められた文字数の範囲で客観的に説明しているか否かを判定した。なお、模範解答例以外にも、傾向を正しく把握して説明していれば正答とした。

問4においても推論や憶測は必要ではなく、図中の数値を正確に読み取って正しい解答を導き出せるか否かを判定した。

小論文その2は、「新型コロナと生活必需品の価値」をテーマとする新聞コラムの内容を正確に読み解き、筆者の考えを要約して文章表現できる力を主に問う形式の設問とした。食ビジネスを学んでいく上で重要となる経済学の基本法則の一つに、「価格は需要と供給のバランスで決まり、希少性の低い商品は仮に日常生活に必須でも、値段が安くなる」という法則がある。これは、「ダイヤモンドと水のパラドックス」としても有名で、人間が生きていくために欠かせない水の重要性は極めて高いものの、希少なダイヤモンドと比較して、十分な量が供給されるため、水の価格はダイヤモンドよりはるかに安いという現実がある。しかし、新型コロナというショックによって、生活必需品の需要と供給のバランスが崩れ、その価値を再認識することになったということが、筆者の最も主張したい点である。

問1は、下線部①が、先に述べた経済学の基本法則の一つに関連する記述であり、筆者の考えの要約というよりも、むしろ該当する箇所を正確に抜き出すことができれば、制限字数内の解答となる。設問で指示したように、「本文の論旨に沿って」解答することが必要であり、自分

自身の感想や意見を求めていることに注意して欲しい。

問2は、「奢侈（しゃし）品」という経済学の専門用語の知識がないことを前提とした設問であり、文章をよく読み、あきらかに間違いと判断できる3つの選択肢を除外して、消去法で最も適当な説明文を選び取る力を試した。なお、正答である「所得が高くなると需要が大きく増加する商品」は、奢侈品の定義であるが、文中に直接このことを説明する表現は含まれておらず、その点でやや難しかったであろう。

問3は、知り合いの農家が農産物を送ってくれたことに対する筆者の単純な感謝ではなく、改めて生活必需品の重要性を筆者が確認したことと関連付けて解答する必要がある。つまり、農産物の価格が高騰したわけではないが、生活必需品の価格が高騰して、その価値を再認識したことを契機として、改めて生活必需品の一つである農産物への感謝の気持ちをもったことがポイントである。この点が含まれて、かつ指定されたキーワードを用いて、制限字数内で、主語・述語が明確な文章になっているか否かを判定した。

〈模範解答例〉

（その1）

問1 227.3

問2 ⑧

問3 食べ残しの食品ロス率は、29歳以下と60歳以上の年齢階層でやや高い。直接廃棄の食品ロス率は、39歳以下の年齢階層で高い。過剰除去の食品ロス率は、49歳以下の年齢階層で差がないが、50～59歳でやや高く、60歳以上で最も高い。(114字)

問4 ①、③

（その2）

問1 価格は需要と供給のバランスで決まり、希少性の低い商品は仮に日常生活に必須でも、値段が安くなるから。(49字)

問2 (d)

問3 質の良い生活必需品を手ごろな価格で購入できることが、我々の生活を非常に豊かなものにしてきた。しかし、パニックの発生で、生活必需品の重要性を改めて認識し、農産物も生活必需品であることを痛感したから。(98字)